

“水俣病”支援きめる

水俣
地協

被害者救済に重点

水俣地協は五日午後五時から水俣市内の教育会館で十二単座二十四人の評議員会を開き、水俣病問題に対する支援体制を固めることを決めた。

同地協が決めたのは①水俣病に関する問題のうち、とくに被害者救済に力を入れる②水俣病問題については、地協独自の運動方針でのぞむ③地協からあらためて総評に支援を要請するーなど。

地協では、ことし一月結成した水俣病対策の市民会議と手を取り合って運動を進め、各単組が各組合員に対し同会議の会員加入の促進をはかる。将来は街頭募金など、もして水俣病患者の実態を訴え、患者や関係家庭の生活援助や運動

資金などをつくる。